

神戸市感染症発生動向調査週報

平成29年9月19日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第 37週 平成29年9月11日 ～

平成29年9月17日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	3							2	1	6											1	1			2		1	1		

小児科

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	16		6	1	11		7	11	19	71	8	16	22	7	7	9	2							
咽頭結膜熱					1	3	2			6			2		1	1	2							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	1		3	2	3	4	11	26				1	5	3	4	2	6	1		1	1	2
感染性胃腸炎	2		3	4	18	6	24	42	14	113	3	6	20	7	13	14	7	6	4	2	3	12	4	12
水痘	1				1		1	6		9			2		1		3	2	1					
手足口病	7		1		1	1	2	10	3	25		2	5	6	3	1	1	1	2	1		3		
伝染性紅斑	1				1				1	3						1		1		1				
突発性発疹	1		1		1	2	1	3	4	13	1	6	6											
百日咳																								
ヘルパンギーナ	2		2		2	3	2	11	2	24	1	4	8	1	3	2	1		2	2				
流行性耳下腺炎					3	1	2	6	3	15				2	2	1	3	1	1	3		2		

9月24日～30日は結核予防週間です。神戸市の人口10万人あたりの結核罹患率は18.6と、全国より高い水準で、毎年約300人が市内で新たに発病しています。高齢者の発病が多いですが、働き盛りの世代も発病しています。

結核は空気感染で、咳のしぶきに含まれる菌が空中を浮遊し、それを吸い込むことで感染します。そのため、咳が出るときにマスクをつけることで、感染のリスクは大きく下がります。咳が2週間以上続く、いつもの風邪とちがうというときは、マスクをつけて医療機関を受診しましょう。

「それっていつもの風邪ですか？」神戸市HPの結核のページもご覧ください。

[結核 | 神戸市ホームページ](#)

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎						1			1	2															2				

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

北 区○アデノウイルス感染症1例:2歳 男
○細菌性腸炎(病原性大腸菌O25)1例:1歳 女
垂水区○細菌性腸炎(カンピロバクター)2例:年齢性別不明

【基幹定点(市内3ヶ所)からの報告】

ロタウイルス胃腸炎1例:4歳 男
細菌性髄膜炎1例:63歳 男
無菌性髄膜炎2例:11歳 男、13歳女

〔お知らせ〕 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [【検索】](#)

[「ILI情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

【市内の感染症の状況】

○RSウイルス

RSウイルス患者の報告が、定点あたり2.3人となり、先週より増加しています(先週1.7人)。患者数は、過去10年同時期と比較してかなり多い報告数で推移しています。

【行政検査情報】※行政検査:公衆衛生上、問題となる病原体について市が行う検査

○日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病(四類感染症)疑い

検査結果:日本紅斑熱 陽性

SFTSおよびつつが虫病 陰性

・42歳 男性

・神戸市の山林で建設作業していた

・作業期間中に右足のくるぶしに虫の刺し口があることに気づいた

・症状:発熱、頭痛、発疹、肝機能異常、血小板減少

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター

2017年9月19日作成

全数把握対象感染症発生状況 (二類感染症 結核)

結核届出患者数は16人(うち潜在性結核感染症2人)です。

全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	50代	-	2017年9月9日	2017年9月14日	O157(VT2)	便培養法	なし	不明	無症状病原体保有者
女	60代	-	2017年9月13日	2017年9月19日	O157(VT2)	便培養法	なし	不明	無症状病原体保有者
女	50代	2017年9月10日	2017年9月12日	2017年9月19日	O157(VT2)	便培養法	腹痛 水様性下痢	不明	-

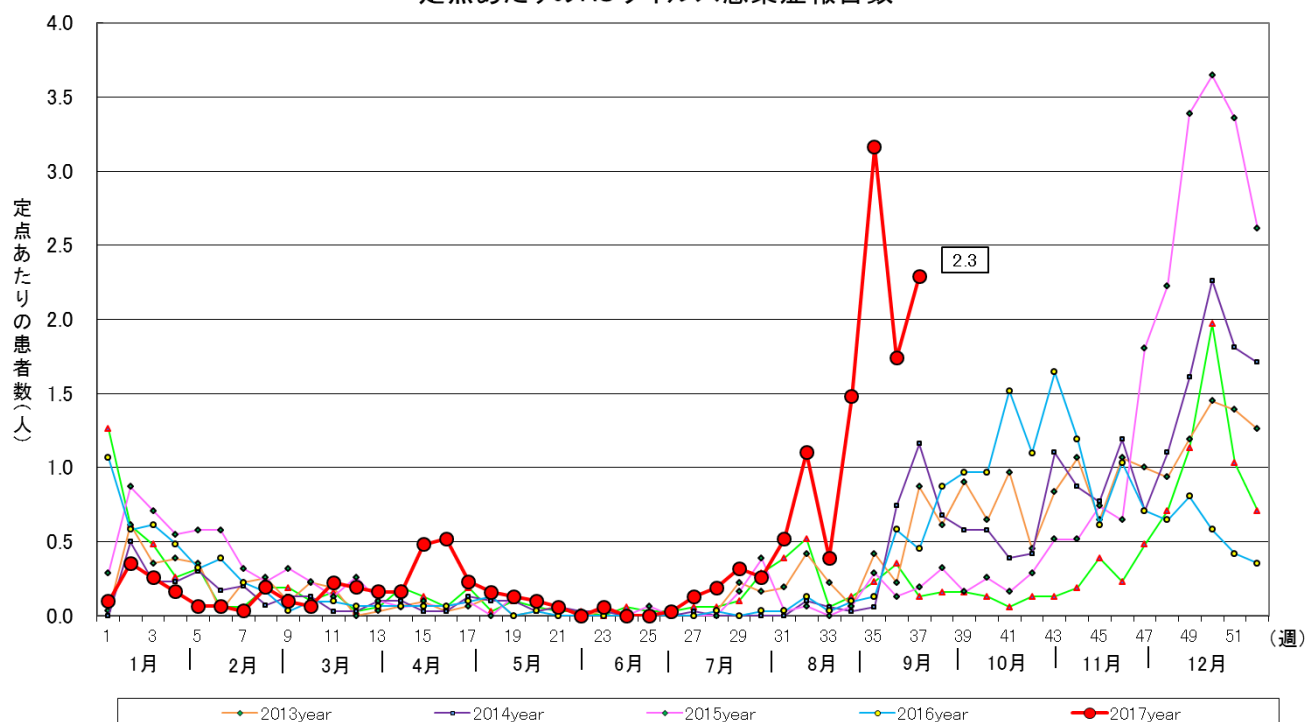
全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 日本紅斑熱)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2017年8月16日	2017年8月23日	2017年9月15日	/	ペア血清での抗体価の有意上昇	発熱、発疹 刺し口、頭痛 血小板減少 肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	-

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
ムンプスウイルス	唾液	須磨	3歳11ヶ月女児(9/5採取、39℃、唾液腺腫脹)
A型インフルエンザウイルス(H1pdm09亜型)	鼻腔ぬぐい液	西	1歳7ヶ月男児(9/4採取、38.5℃、インフルエンザ疑い)
A群ロタウイルス	便	西	1歳3ヶ月男児(9/6採取、37℃、感染性胃腸炎)
日本紅斑熱	血清	灘	42歳 男 発熱(40℃)、血小板減少、ダニの刺し口あり

定点あたりのRSウイルス感染症報告数

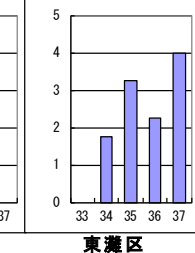
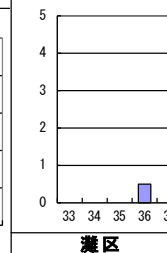
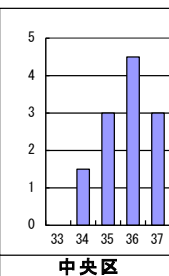
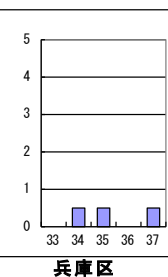
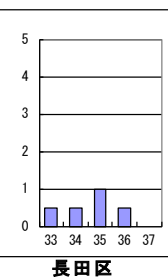
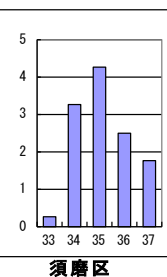
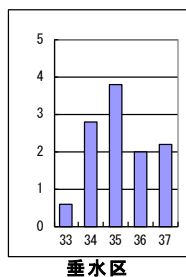
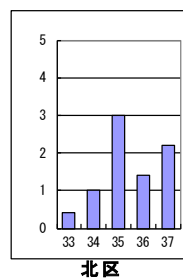
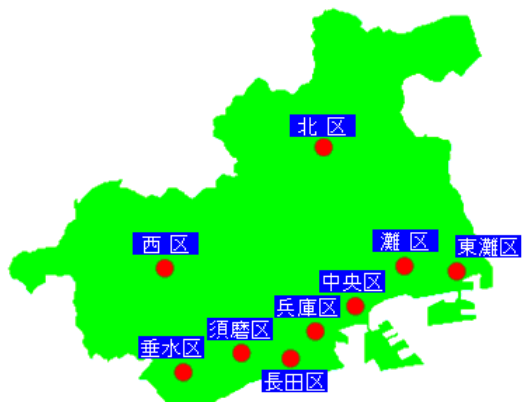
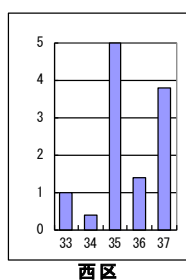


疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 33 週 平成29年8月14日

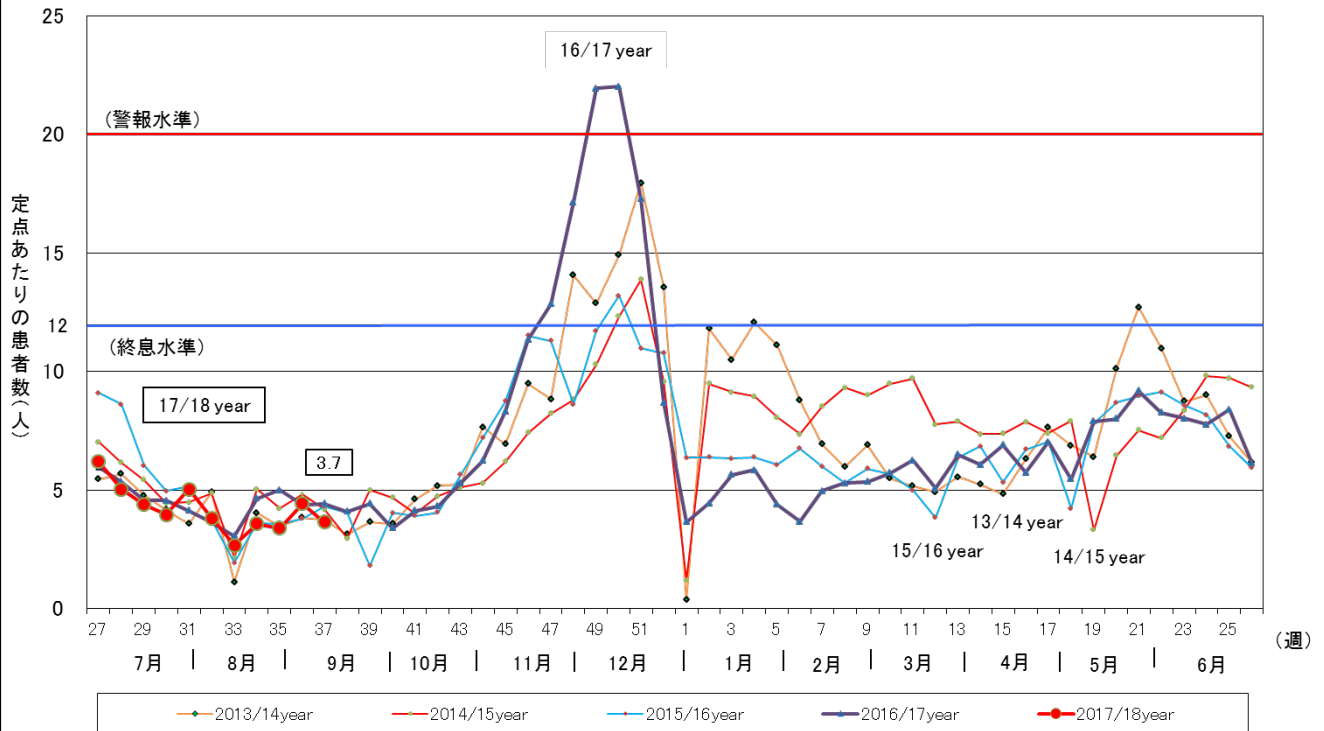
～ 第 37 週 平成29年9月17日

RSウイルス感染症



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



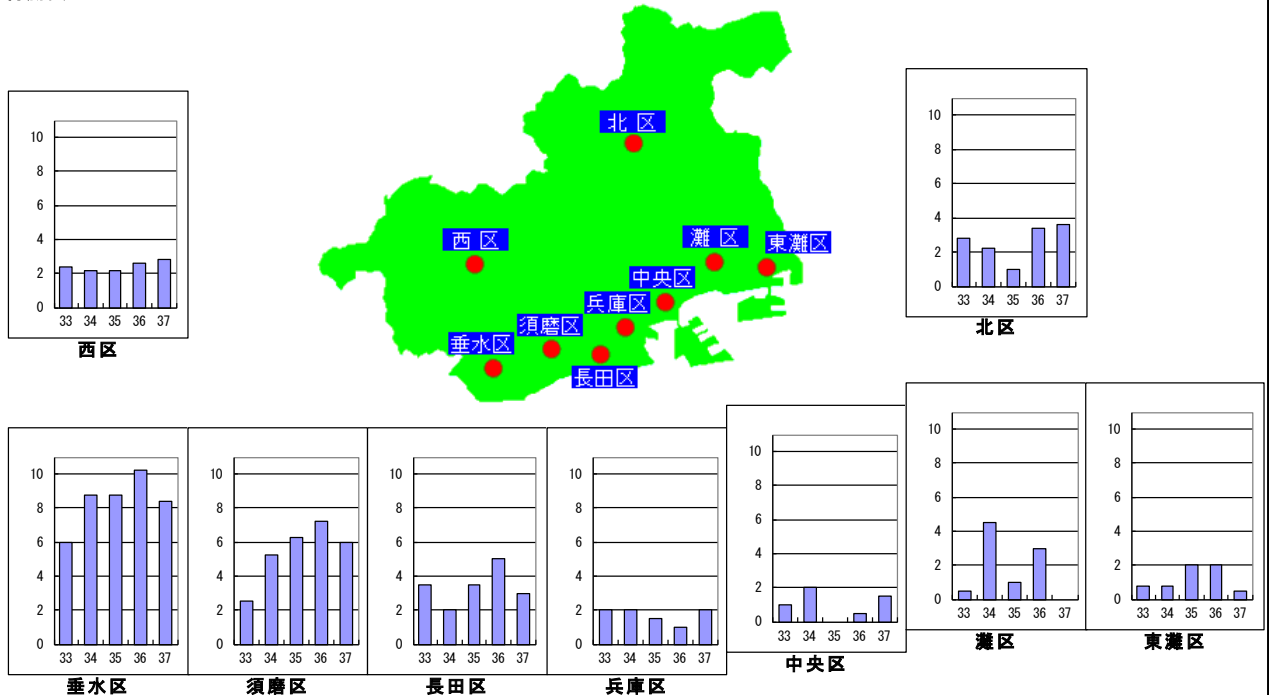
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 33 週 平成29年8月14日

～

第 37 週 平成29年9月17日

感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。